

人気実力者の共演

～パリで発掘された1906年製スタインウェイとともに～



(C)Yuji Hori



(C)Yusuke Kinoshita



CLINING RECORDS



(C)HIDEKI NAMAI

ヴァイオリン

川久保 賦紀

ヴィオラ

中 恵菜

チェロ

辻本 玲

ピアノ

阪田 知樹

Steinway & Sons
Patent Grand
New York & Hamburg.

2023 1/19(木)浜離宮朝日ホール 19:00 開演 (18:30 開場)

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社・新館 2階 TEL 03-5541-8710

全席指定(税込)

S 席 6,800円 A 席 5,500円 B 席 4,000円

チケット発売日

先行発売 2022 10/24(月) 一般発売 2022 11/1(火)

Program

- 弦楽三重奏
シューベルト : 弦楽三重奏曲第1番 変ロ長調 D471
ベートーヴェン : 弦楽三重奏のためのセレナード ニ長調 Op.8
1906年製スタインウェイ ピアノ四重奏
 Brahms : ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 Op.25
- ※曲目、曲順は変更になる場合がございます

チケットのお申し込み・お問合せ

- 公益財団法人文化科学教育研究会 03-6435-3874 mail:bunkakagaku@imanage.co.jp
- チケットスペース 03-3234-9999 [チケットスペースオンライン検索](#)
- イープラス <https://eplus.jp/> ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (P コード: 227-405) →



Profile



Violin 川久保 賦紀

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキーオンターナー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞以来、クラシックから現代まで、幅広いレパートリーを手がけ、国内外でリーディングソリストとして活躍を続けています。若くして、主要な北米オーケストラと共に演奏し、豊富なステージ経験を積む。日本では1997年、チョン・ミョンファン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共に演奏を重ね、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ています。近年は小菅優とのデュオでドイツ・ツアーや、またワシントンなどで自ら企画するコンサートを行なうなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮し、リサイタルだけではなく室内楽にも積極的に取り組み、究極のアンサンブルを追求し続けている。近年では、欧米での活動と並行し、国内ではP.ヤルヴィ、P.インキンネン、尾高忠明、小泉和裕、梅田敏明ら著名な指揮者らとNHK交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団など国内主要オーケストラとの共演するほか、小菅優とのソロ&室内楽プロジェクト、遠藤真理と三浦友理枝とのトリオでの活動も行い、幅広く展開している。後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より桐朋学園大学院大学(富山校)教授に就任。5歳の時にヴァイオリンを始め、R.リブセット、D.ディレイ、川崎雅夫、Z.プロンの各氏に師事。



Viola 中 恵菜

京都市出身。4歳よりヴァイオリンを始め、21歳でヴィオラに転向。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンマスター課程修了。Quartet Amabileのヴィオラ奏者として、第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、2019年ニューヨークで開催されたYoung Concert Artists International Auditionにて優勝、その他多数優勝。ホテルオークラ賞受賞。これまでに、ゆらぎの里ヴァイオラマスタークラス、ヴァイオラスペース、IMUSE Music Festival in Enghien、MMCJ、プロジェクトQ、霧島国際音楽祭、ミュージック・アカデミーinみやざき等で研鑽を積む。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、東京・春・音楽祭、ヴァイオラスペース、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、その他多数出演。第5回次代へ伝えたる名曲 今井信子ヴィオラ・リサイタルにて、今井信子氏と共にCHANEL Pygmalion Days 室内楽アーティスト。Music Dialogueアーティスト。上原ひろみザ・ピアノクインテットメンバー。2021年4月より、新日本フィルハーモニー交響楽団のヴァイオラ首席奏者に就任。これまでに、ヴィオラを佐々木亮、ヴァルター・キュスナーの各氏に師事。使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与されたMontagnana。



Cello 辻本 玲

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(スイス)に留学。第72回日本音楽コンクール第2位(「聴衆賞」受賞)。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー。リサイタルを開催。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。毎年サイトウ・キネン・オーケストラ、アルカス佐世保のレジデンス・カルテットに参加、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチ」ほか室内楽でも活動。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース(「レコード芸術」誌特選盤)。メタ・ワツ、オランダ・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。

公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>



Piano 阪田 知樹

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、及び6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて最年少入賞。レナード・スラットキン、アレクサンドル・ラザレフ、ヒュー・ウルフ、ヴラディーミル・ヴァーレク、ヤーノシュ・コヴァーチュ、アンドレア・バッティストーニ、尾高忠明、他諸氏の下、チェコ国立交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、NHK交響楽団、他と共に演奏。東京クワルテットメンバー、ブレンターノ弦楽四重奏団との共演など室内楽奏者としても活躍。国内はもとより、世界20カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。2022年2月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのピアノ協奏曲での弾き振り、及びリストの管弦楽作品日本初演の指揮を行った。同年5月、「阪田知樹ピアノ編曲集 ヴォカリーズ」が音楽之友社より出版。2015年CDデビュー。2020年、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、及び同大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学、「コモ湖国際ピアノアカデミー」にて研鑽を積む。パウル・バドゥラニスコダ氏に10年に亘り師事。作曲を永富正之、松本日之春の各氏に師事。横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

パリで発掘された1906年製 ハンブルグ・スタインウェイD-274

本コンサートで使用するこの約120年前に作られたフルコンサートピアノは、二度の大戦を乗り越え、限りなくオリジナルに近い状態で見つかり、奇跡的に殆どのパーツを交換することなく再生されています。

特に、外装に用いられた最上級のローズウッド材は、現在は枯渇や環境変化等でほぼ調達困難であり、脚やペダル部分、譜面台に施された華麗な装飾とともに大変貴重です。さらに演奏家が弾き込んでいくことにより、千变万化する多彩な音色と深い響きの音楽の幅が広がっていくことでしょう。

公益財団法人文化科学教育研究会

【文化公益事業について】

クラシックコンサート事業として、一流アーティストを誘致しコンサートの開催や、有能な若手音楽家へ演奏機会を提供するなどの支援を行い、また、音楽教育支援事業として、ホールでの試聴イベント開催・財團所有のピアノ試聴機会の提供、青少年への主催コンサートへの招待などを実行っています。

【寄付金について】

当財団の事業活動にご理解とご賛同を頂き、是非ご寄附をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。

幣財団の活動にご支援いただける場合には、以下お振込み先にご寄附頂けますと幸いです。

お振込口座：きらぼし銀行 本店 普通口座 4066887 公益財団法人 文化科学教育研究会